

## 28. (Gno.79) サイバーセキュリティに関する研究 (サイバーセキュリティ研究会)

代表：四方 光

2017 年度 (開始)

### 【研究の目的】

近時のサイバー犯罪、例えば、個人情報、政府の情報、銀行預金、先端的ソフトウェアなどを狙う、virus やハッキングによる情報の盗取、インフラの破壊や麻痺を狙うサイバー犯罪などにより、我が国を含め、大きな被害が発生してきており、サイバー犯罪への有効な対処が喫緊の課題とされてきているが、これに対する有効な対処がまだ十分には発展してきておらず、攻撃者を確認したり、捕捉したりするための、国際的連携を含めた方策が講じられてきているとはいえ、我が国における対処は控えめであり、攻撃者が誰であるのかを追求する方法や証拠の収

### 【研究活動及び成果】

#### 総括

2024 年度、サイバーセキュリティ研究会は、近年喫緊の課題とされるサイバー犯罪、特に SNS を介した詐欺に係る犯罪及びフェイクニュース (虚偽情報) を中心とした研究会を 4 回実施した。研究会では、国内の先生方に発表していただくのみならず、サイバー犯罪の国際性を加味し、国外の先生方にも研究会へ出席・ご講演を賜り、幅広い視点から近時の問題に取り組んだ。4 回にわたる研究会において、実務家の先生方にも多く出席していただいたこともあり、サイバー犯罪に係る課題を学問的視野のみならず、より現実的知見で犯罪の実情と課題を検討する機会も頂いた。さらに、サイバーセキュリティ研究会の活動全体を通し、様々な分野の専門家の先生方にご出席いただいていることもあり、サイバー犯罪を官民・多業種で対策していく一助となる研究会であったと思われる。

#### 刊行物

四方 光「第 13 講 VII サイバー犯罪」守山 正=渡邊 泰洋編『ビギナーズ犯罪学』成文堂 (2024 年 9 月)

#### 口頭発表

中央大学 日本比較法研究所 サイバーセキュリティ研究会・警察政策学会 情報技術犯罪対策部会 合同研究会

- ・2024 年 7 月 石井 啓介 「SNS 型投資・ロマンス詐欺の現状と今後の対策」
- ・2024 年 8 月 頼 擁連 「台湾におけるインターネット上の詐欺被害」
- ・2024 年 12 月 吳 志勇 「インターネットの虚偽情報に関する刑事法の研究」、高良幸哉「近時のフェイク情報規制についての動向」

中央大学 日本比較法研究所 サイバーセキュリティ研究会・警察政策学会 少年問題研究部会・情報技術犯罪対策部会 合同研究会

- ・2024 年 9 月 金尻 カズナ「重大な脅威「セクストーション」対策が急務」